

九州地熱等発電ファンドへの出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機関）は、アストマックス・トレーディング株式会社（所在地：東京都品川区 代表取締役：牛嶋 英揚）がファンド運営者である九州地熱等発電ファンド「九州再生可能エネルギー投資事業有限責任組合」に 7 億円の LP 出資を決定致しましたのでお知らせします。

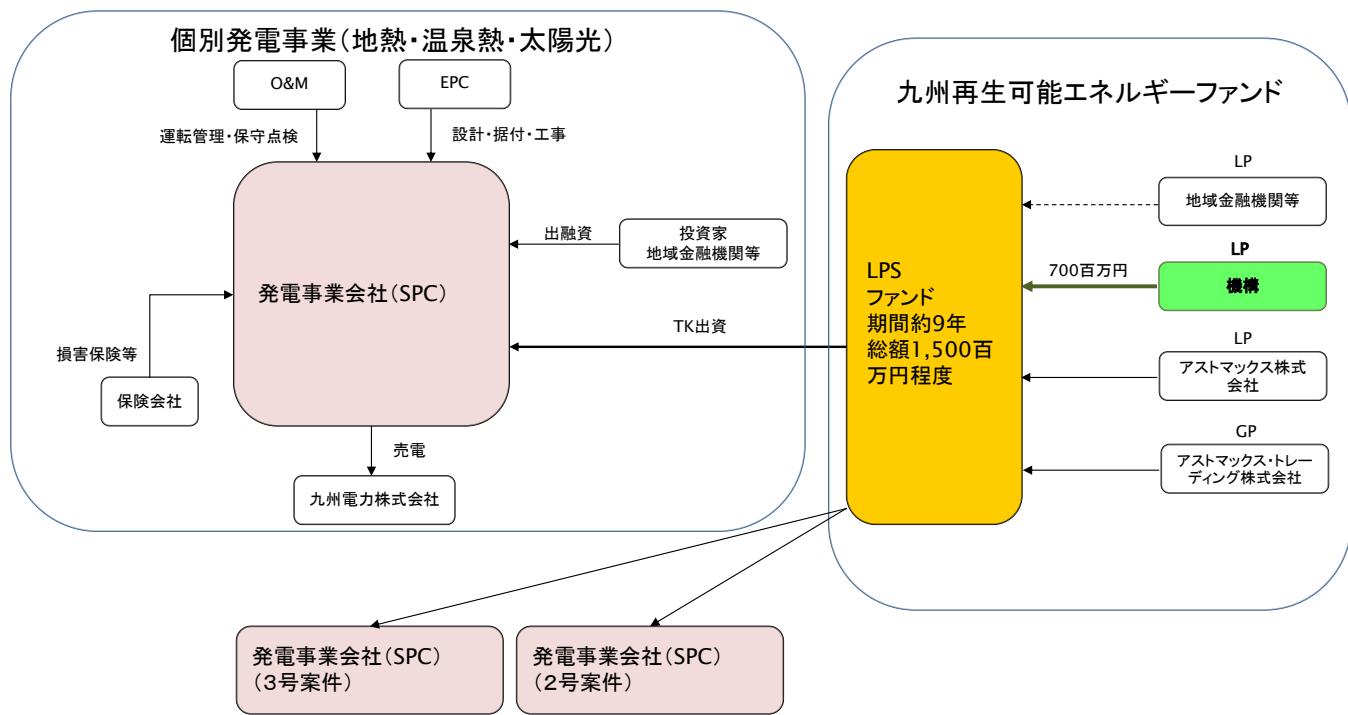
アストマックス・トレーディング株式会社は平成 24 年から再生可能エネルギー事業に参入、太陽光発電事業を中心に展開し、再生可能エネルギーを推進しています。

本ファンドは、九州における地熱発電、温泉熱発電、太陽光発電の再生可能エネルギー事業を投資対象とするものです。

本ファンドは、機関や投資家が有限責任組合員（以下「LP」）となり組成されますが、今後、最大 15 億円程度のファンド規模を目指し、地域金融機関等に出資を呼び掛けていきます。

機関は、安定電源としての期待が高く、地域活性化効果も見込める地熱発電事業等の普及に資すること、機関の出資が本取組における民間資金の呼び水効果となることに鑑み、出資決定致しました。

1. スキーム概要



(説明)

- ① 本ファンドに、機関が 700 百万円、アストマックス株式会社、アストマックス・トレーディング株式会社が合計 701 百万円を出資し、1,401 百万円のファンドを設立します。今後、本ファンドの無限責任組合員（以下「GP」）のアストマックス・トレーディング株式会社がファンド運営者として、LP 出資者 100 百万円を募集します。
- ② GP は地熱発電、温泉熱発電、太陽光発電に出資していきます。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 本ファンドは、投資対象地域の自治体や地元企業と連携し再生可能エネルギー事業を推進するものであり、地元企業の活用、雇用創出、一部事業から地域への収益還元等により地域活性化が見込まれること。
- ② 日本においてポテンシャルが高いにもかかわらず、十分に開発が進んでいない地熱発電事業の普及に資すること。
- ③ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること(本事業による CO₂ 削減効果は 12,295t-CO₂/年を想定)。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
